

1. 第31回日本創傷治癒学会 会長あいさつ

第31回日本創傷治癒学会の開催にあたって

会長 野崎 幹弘

第31回日本創傷治癒学会を2001年12月6～7日に東京(新宿、京王プラザホテル)で東京女子医科大学形成外科学教室が担当して開催させて頂きました。

本学会は創傷治癒に関する基礎的・臨床的研究の促進・発展を目的に唱っております。会員の構成は外科・内科等の臨床系ばかりでなく、病理等の基礎系にも多くの方々がおられます。これら多方面からの研究成果が結集され、われわれの最重要課題のひとつである創傷治癒を真正面から討議するわが国唯一の学術集会であります。したがってこの期待に沿えるよう、また今後の学会発展のone stepとなり得るようにプログラムを企画しました。

シンポジウムⅠでは「血管新生療法のup date」と題して中島龍夫先生(慶大)・三輪晃一先生(金沢大学)の司会により、佐藤靖司先生(東北大)、市岡滋先生(埼玉医大)、西田博先生(東女医)、副島一孝先生(東女医)、和田則仁先生(慶大)、増田浩史先生(東海大)、藤田龍哉先生(札医大)に口演して頂きました。機序・解析から臨床応用まで、それぞれの領域での新知見が示され、エキサイティングな討論がありました。病態生理にリンケージする血管新生の諸研究は、より高度なレベルで多岐に向っていることが認識されました。シンポジウムⅡは「遺伝子治療の現況を知るー創傷治癒への応用を目指して」と題し、落合武徳先生(千葉大)・石井壽晴先生(東邦大)の司会で、小澤敬也先生(自治医)、森下竜一先生(阪大)、竹下聡先生(帝京大)、米満吉和先生(九大)、澤村大輔先生(北大)、近藤稔和先生(金沢大)、崎山幸雄先生(北大)に口演頂きました。

先ず初めに遺伝子治療の基礎をわかりやすく解説して頂き、そしてすでに始まった臨床現場での現況が話され、活発なディスカッションとなりました。遺伝子治療が創傷治癒分野にも貢献が大いに期待出来ることを明確にして頂きました。

特別講演では「細胞シート工学:再生医療の新しいアプローチ」と題して岡野光夫教授(東女医・先端生命医科学研究所)が組織工学の新しい展開を素晴らしく語って下さいました。また、W.J.Lindblad教授(米国・Wayne州立大学)も「Stem Cells in the Repair of Dermal Injury」と題して講演して下さいました。彼は本学会誌の共同機関誌Wound Repair and Regenerationのchief editorでもあり、この来日を契機にして今後益々本学会員からの投稿に期待を寄せておりました。

松田道生先生(自治医大)と徳永昭先生(日本医大)のお力添えで、第XIII因子に関するサテライトシンポジウムを開かせて頂きましたことは光栄の至りでした。多彩なプログラムとなりましたが、会員各位にとりましては創傷治癒の最先端の現況をしっかりと把握でき、新しい世紀のこれからの展望を模索し得た学術集会となりましたことを希望します。今回の学会に対して、主題Scarless wound healingおよびNitric oxideや一般演題に対しても本当に多く出題がありました。また多数のご参加を頂きましたこと、教室を代表して改めて厚く御礼申し上げます。

第32回本学会は平成14年12月に福岡で久留米大学形成外科 田井良明教授により開催予定となっております。多くの参加を頂き、盛大な学術集会となることを祈念しております。



日本創傷治癒学会
The Japanese Society for Wound Healing

2001.12
No.6

●日本創傷治癒学会事務局

〒160-8582

東京都新宿区信濃町35

慶應義塾大学医学部外科学教室内

tel. 03-3353-1211

(内線62269)

fax.03-3353-2681

e-mail:jswh@sc.itc.keio.ac.jp

2. 日本創傷治療学会 役員名簿 (H14.1.20現在)

名誉会員 阿部令彦、阿部力哉、井口 潔、石引久彌、磯野可一、稲山誠一、遠藤光夫、掛川暉夫、古味信彦、櫻井健司、塩谷信幸、田中 隆、田辺達三、鶴藤 丞、林 四郎、藤城保男、三島好雄、森 昌造(18名)

特別会員 青木照明、浅野伍朗、岩橋寛治、大浦武彦、金澤暁太郎、嶋田晃一郎、杉立彰夫、隅越幸男、中村輝久、中山一誠、細田泰弘、前田昌純、宮内好正、毛利喜久男、吉崎 聡、渡辺洋望(16名)

理事 石井壽晴、内田雄三、岡田 正、岡田保典、小野一郎、恩田昌彦、北島政樹*、黒柳能光、
(*理事長) 中島龍夫、野崎幹弘(10名)

監 事 杉町圭蔵、田井良明(2名)

事務局幹事 大谷吉秀(1名)

評 議 員 相川直樹、赤坂喜清、穴澤貞夫、石井壽晴、市川英幸、上尾裕昭、上田和毅、内田雄三、内沼栄樹、大谷吉秀、大野真司、岡田 正、岡田保典、落合武徳、小野一郎、恩田昌彦、加藤紘之、上石 弘、北島政樹、北野正剛、窪地 淳、熊谷憲夫、黒柳能光、小平 進、斎藤和好、斉藤聖二、坂本長逸、篠澤洋太郎、嶋田 紘、島田光生、白水和雄、杉町圭蔵、鈴木邦夫、鈴木茂彦、炭山嘉伸、田井良明、高野邦夫、田澤賢次、徳永 昭、中島龍夫、西岡 清、野崎幹弘、秦 維郎、畠山勝義、百束比古、平田公一、船曳孝彦、松野正紀、丸山圭一、丸山 優、三輪晃一、山崎洋次(52名)

3. 日本創傷治療学会 各種委員会 (H14.1.20現在)

財務委員会

担当理事・委員長 内田 雄三
委 員 嶋田 紘、畠山 勝義、
三輪 晃一

広報委員会

担当理事・委員長 恩田 昌彦
委 員 石井 壽晴、坂本 長逸、
田井 良明、徳永 昭

規約委員会

担当理事・委員長 岡田 保典
委 員 穴澤 貞夫、平田 公一

関連学会協議委員会

担当理事・委員長 野崎 幹弘
委 員 黒柳 能光、斎藤 和好、
西岡 清

評議員選考委員会

担当理事・委員長 中島 龍夫
委 員 上石 弘、斉藤 聖二

将来構想検討委員会

担当理事・委員長 岡田 正
委 員 北野 正剛、高野 邦夫、
丸山 圭一

国際委員会

担当理事・委員長 小野 一郎
委 員 上尾 裕昭、岡田 保典、
秦 維郎

4. 日本創傷治療学会 開催記録(第1回～31回)

会長

特別講演・依頼講演

第1回	昭46. 7. 26	東京	鈴木安恒(慶大耳鼻科)	
第2回	昭47.12. 2	東京	鈴木安恒(慶大耳鼻科)	
第3回	昭48.12.15	東京	鈴木安恒(慶大耳鼻科)	
第4回	昭49.12. 7	東京	阿部令彦(慶大外科)	毛利喜久男(関西医大外科)
第5回	昭50.12.13	東京	阿部令彦(慶大外科)	渡辺洋望(東京医大病理)
第6回	昭51.12.11	東京	阿部令彦(慶大外科)	秋山太一郎(日本医用高分子材料研究所)
第7回	昭52.12. 3	東京	阿部令彦(慶大外科)	三方淳男(慶大病理)
第8回	昭53.12.16	東京	長尾房大(慈恵医大第二外科)	鶴藤 丞(東北大薬学)
第9回	昭54.12.15	東京	林 四郎(信大第一外科)	長谷川正光(国立循環器病センター脈管生理)
第10回	昭55.12.13	東京	藤城保男(東京電力病院外科)	横 哲夫(東北労災病院)
				林 四郎(信大第一外科)
				岡崎 勲(産業医大内科)
第11回	昭56.12.12	東京	森 昌造(岩手医大第一外科)	岡田 正(阪大第一外科)
				三島好雄(東大第一外科)
第12回	昭57.12.11	福岡	井口 潔(九大第二外科)	渥美和彦(東大医用電子研究施設)
第13回	昭58.12.10	東京	遠藤光夫(東京女子医大形成外科)	平山 峻(東京女子医大消化器病センター外科)
第14回	昭59.12. 1	大阪	岡田 正(阪大第一外科)	Thomas K. Hunt(カリフォルニア大SF外科)
第15回	昭60.12. 7	東京	三島好雄(東京医科歯科大第二外科)	永井 裕(東京医歯大難治疾患研究所)
第16回	昭61.10. 4	札幌	田辺達三(北大第二外科)	大浦武彦(北大形成外科)
第17回	昭62.11.21	福島	阿部力哉(福島県立医大第二外科)	田辺達三(北大第二外科)
第18回	昭63.12. 3	札幌	櫻井健司(慈恵医大第一外科)	塩谷信幸(北里大形成外科)
第19回	平元.12. 2	久留米	掛川暉夫(久留米大第一外科)	
第20回	平2. 12. 1	徳島	古味信彦(徳島大第一外科)	市原 明(徳島大酵素科学センター)
第21回	平3. 11.30	名古屋	中島龍夫(藤田保健衛生大形成外科)	清水慶彦(京大生体医療工学研究センター)
第22回	平4. 12. 5	横浜	塩谷信幸(北里大形成外科)	Frederick Grinnell(テキサス大)
第23回	平5. 12. 4	山形	鷲尾正彦(山形大第二外科)	Gere S. diZerega(南カリフォルニア大)
第24回	平6. 11.12	千葉	磯野可一(千葉大第二外科)	新海 滋(千葉大皮膚科)
第25回	平7. 12. 2	東京	田中 隆(日大第三外科)	野崎幹弘(東京女子医大形成外科)
第26回	平8. 12. 7	福岡	杉町圭蔵(九大第二外科)	上尾裕昭(大分県立病院外科)
第27回	平9. 12. 6	東京	石引久彌(国立埼玉病院外科)	
第28回	平10.12. 5	大分	内田雄三(大分医大第二外科)	David J. Smith(ミシガン大メディカルセンター)
第29回	平11.12. 4	東京	中村紀夫(慈恵医大柏病院救急診療部)	矢永博子(久留米大形成外科)
				William J. Lindblad(ウェインステート大)
第30回	平12.12.8,9	東京	恩田昌彦(日本医大第一外科)	Thomas K. Hunt(カリフォルニア大)
				Adrian Barbul(ジョンズホプキンス大)
				黒川高秀(昭和大、日本医大)
第31回	平13.12.6,7	東京	野崎幹弘(東京女子医大形成外科)	岡野光夫(東京女子医大先端生命医科学研究所)
				William J. Lindblad(ウェインステート大)

5. 研究助成金受賞者一覧

第1回 (昭和58年、第13回研究会)

三吉 博(慶大外科)

「吸入酸素濃度変化時の胃管組織酸素分圧の
変動に関する実験的検討」

津久井敏郎(信州大第一外科)

「胃壁における創傷治癒過程とZn、Cuの関与」

第2回

根津理一郎(阪大第一外科)

「高カロリー輸液時における亜鉛代謝」

吉村陽子(藤田保健衛生大形成外科)

「低出力半導体レーザーを応用した
皮弁生着率向上の試み」

第3回

菊池功次(慶大胸部外科)

「気管の再手術における問題点
—気管吻合部における軟骨のcuttingの影響—」

南雲吉則(慈恵医大第一外科)

「表皮直下に存在する血管網の証明と、その創傷治
癒にかかわる形態学的変化の観察」

第4回

杉立彰夫(国立大阪病院外科)

「“G・T・XIII”による創傷治癒促進のMechanism」

鈴木省悟(北大第二外科)

「発育動物に対する吸収性縫合糸の応用
—組織学的、物性的変化の検討—」

第5回

南雲吉則(慈恵医大第一外科)

「糖尿病性壊疽における皮膚および皮下の
動静脈吻合の形態とその意義」

上田政和(慶大外科)

「熱傷創水疱中に含まれる線維芽細胞に対する
増殖因子について」

第6回

橋爪慶人(近畿大形成外科)

「微小血管外科領域での静脈移植における
内皮細胞の再生過程について」

酒井憲孝(杏林大第一外科)

「胃虚血モデルにおける潰瘍形成とその治癒経過
—CoQ10アニオンラジカルとの関係」

第7回

長島 敦(慶大外科)

「人工食道実用化のための細胞培養法を用いた
上皮化に関する実験的研究」

吉田祥吾(久留米大第一外科)

「創傷治癒とヒスタミン—ことにCompound48/80と
外因性ヒスタミンの効果について—」

第8回

安藤 勤(徳島大第一外科)

「ラット肝臓中の肝細胞増殖因子(HGF)の
生理学的検討」

諸星保憲(東北大第二外科)

「自家内皮細胞被覆人工血管の作製と移植後
治癒状況の検討」

第9回

岡本泰岳(藤田保健衛生大形成外科)

「プロスタグランジンE₁局所持続動脈内注入時の
皮弁内微小循環の変化」

岡田正樹(自治医大消化器外科)

「創傷治癒における腸内floraの影響について」

第10回

朝倉伸司(自治医大血液研)

「新しい細胞接着阻害因子の同定:New function of
high molecular weight kininogen」

佐藤道夫(慶大外科)

「ハイブリッド型人工食道内腔上皮化のための
実験的研究」

第11回

副島一孝(女子医大形成外科)

「ラット血管内皮細胞の培養と移植」

木口英子(東京医大八王子病理)

「ラット腹部の島状皮弁を用いた創傷治癒モデルの
血管再生について 創傷治癒過程の血管新生
における増殖因子の意義」

第12回

鈴木茂彦(京大形成外科)

「皮弁遠位部における生死決定メカニズムに
関する決定」

石渡俊行(日本医大第二病理)

「血管内皮細胞の増殖制御と細胞外基質の関連性」

第13回

井上正幸(福島県立医大皮膚科)

「熱傷水疱液中に遊出するサイトカインによる
ヒト線維芽細胞の増殖メカニズム」

木山輝郎(日本医大第一外科)

「胃消化性潰瘍の修復過程におけるストレス蛋白
(HSP70)の発現」

第14回

石村 健(香川医大第一外科)

「高エンドトキシン血症が腸管吻合部創傷治癒過程に
及ぼす影響に関する実験的検討」

高野邦夫(山梨医大第二外科)

「長期ステロイド治療による創傷治癒障害と
サイトカイン」

第15回

桜井洋一(藤田保健衛生大第三外科)

「外科重症病態下におけるinsulin、IGF-I 投与の
蛋白代謝に関する効果」

山崎国司(久留米大第一外科)

「創傷治癒における Nitric Oxide (NO) - inducible
NO synthase(iNOS) 遺伝子欠損マウスにおける
創傷治癒過程」

第16回

赤坂喜清(東邦大第二病理)

「隆起性瘢痕における線維芽細胞アポトーシスと
caspaseの発現性」

橋本 正(京都大形成外科)

「アルギン酸を用いた人工神経の開発と末梢神経
再生モデルでの評価」

第17回

新沢博子(北里大形成外科)

「肉芽組織形成過程におけるVEGFの経時的推移」

山口真彦(昭和大藤が丘病院外科)

「腸管大量切除に対するインスリン様成長因子(IGF-1)
の効果」

第32回日本創傷治癒学会のご案内(第1次)

第32回日本創傷治癒学会 会長 田井良明(久留米大学医学部形成外科教授)

第32回日本創傷治癒学会を下記の通り、開催いたします。
会員の皆様の多数ご参加をお願い申し上げます。

記

1.会期: 平成14年12月5日(木)~6日(金)

2.会場: ホテルニューオータニ博多

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通1-1-2 TEL:092-714-1111

3.演題募集締切: 平成14年8月10日(土)必着

連絡先

〒830-0011 久留米市旭町67 久留米大学医学部形成外科学講座内

第32回日本創傷治癒学会事務局 事務局長:清川兼輔(助教授)

TEL:0942-31-7569(直通) FAX:0942-34-0834 E-mail:prs@med.kurume-u.ac.jp